

# らくよう

楽しく 陽るく 荘全体で  
お年寄りの人権を守ります。

その方らしい生活が出来るよう応援します。

最後までお世話させていただき準備ができています。

特別養護老人ホーム楽陽荘 平成30年9月号 NO. 301

## 〈 観音寺第一高等学校施設体験学習 〉

7月から8月にかけて、1年生の生徒さんが7班に分かれて体験学習を1日ずつ行いました。生徒さんが来られると園内は活気にあふれ、お年寄りの顔も笑顔で輝いていました。

シーツ交換や各フロアの掃除、車いすの掃除など手伝って下さいました。お年寄りと一緒に書道やポスター作りをして仲良くなり会話も弾んでおられました。



## 〈 中部中学校ワークキャンプ 〉

8月1日、中部中学校生徒さん達のワークキャンプを行いました。30名の生徒さんが参加され、5つのグループに分かれてそれぞれ食事介助や移動介助の体験をしました。シーツ交換や車いすの掃除なども一緒に職員と行ってくださいました。

夕涼み会では、多くのご家族も参加され楽しめました。お年寄りも参加出来る方は、中学生や職員と一緒に輪を作り「炭坑節」を踊りました。曲に合わせて手拍子や身体を動かして一緒に踊っておられました。途中、アイスやスイカ、ゼリーを食べ「美味しかった」と喜ばれていました。最後に皆で花火をして楽しみました。近くで見ると「わー、きれい」と驚かれたり、喜んだり、嬉しそうに見惚れていました。



参加された生徒さんより感想文を頂いたのでご紹介させていただきます。

## 〈 福祉施設体験学習を終えて 〉

今年、初めて施設体験学習に参加する私は、楽陽荘のデイサービスの担当ということ以外、分からないので、どんな事をすればいいのか全然想像出来ませんでした。当日、楽陽荘に行って、職員の方に教えて頂きながら、ご年配の方たちと交流する事になりました。デイサービスの部屋に入った時から、ご年配のみなさんが輝いた目で私たちを迎えてくれました。初めにラジオ体操をした時、見られている人の中で、一人私の方を見つめている人がいました。その方は、いすに座ったまま手だけを動かしてまねをしていました。自己紹介が終わって、ご年配の方が分かれて座っている中に、中学生が加わりました。私は、先ほど見つめてくれていた方と話してみたくてその方の側に行くと、笑顔で受け入れてくれました。

その方の話は、戦争中や戦後も含めて、これまで体験してきた事や家族の話でした。今の生活と比べると、かなり大変だったと話してくれました。私の祖母も昔の話をよくしてくれ、その度に大変だったと何度も繰り返し話していたのを思い出しながら、その方の話に耳を傾けていました。夜の夕涼み会で、ソーラン節を踊ったり花火をしたりすると、ご年配の方たちがとても喜んでくれました。私は今まで自分の祖父母と話をしたり、病院に付き添ったりした事はありますが、それ以外のご年配の方と話をすることはほとんどありませんでした。今回、いろいろな経験をする事で、ご年配の方一人一人が、それぞれ多様な経験をし苦労を重ねながら、今日があるという事が分かりました。参加してみてとても楽しかったです。104歳にもなるおばあさんがいたのにもびっくりしました。来年もこのような機会があれば、ぜひ参加したいなあと思っています。



## 〈 編集後記 〉

8月は中部中学校の生徒さん達による「ワークキャンプ」や観一の生徒さんの「施設体験学習」の施設訪問がありました。生徒さん達と接するお年寄りは表情も良く、笑顔が見られていました。そのような姿を見て、職員も生徒さんから学ぶ事も多くありました。

今後も、このような若い方々の福祉に接するお手伝いを続けていきたいと思っています。 今月広報担当：井下貴・三宅利・渡邊